令和４年度
学校だより
ＮＯ．６
Ｒ４．９．２８

中道南小だより 南っ子

かしこく　なかよく　げんきよく

甲府市立
中道南小学校
（児童数６８名）
編集：校長 小林 和仁

全国学力・学習状況調査について

本年度の全国学力・学習状況調査は、４月１９日（火）に６年生を対象として、教科に関する調査（国語・算数・理科）と、学習環境や生活環境に関する調査（質問紙）の２種類が行われました。この調査は、①児童の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題の検証と改善を図る、②学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる、③教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するという３つの目的で行われているものです。本校の調査結果の概要と今後の取組についてお知らせします。

本校の学力・学習状況調査の結果について

Ⅰ　教科に関する調査結果（国語・算数・理科）

【本校の結果】（全国や山梨県との平均正答率比較）
＊文部科学省では、平均との差±５％を微差とし、「±５％の範囲内は、ほぼ同等とする」としています。
これを基に、＋５％以上を「上回っている」－５％以下を「下回っている」と表記します。

国語　：　県平均・全国平均とほぼ同等です。
算数　：　県平均とほぼ同等であり、全国平均を下回っています。
理科　：　県平均・全国平均とほぼ同等です。

Ⅱ　各教科における考察

今後の指導に生かすという観点から課題となる点を挙げていますが、本校の特色となる成果については、今後実施される学校評価の分析や考察とともに、継続指導を行っていきます。

（１）国語

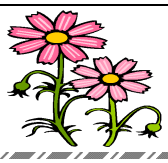
課題となる点
・互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめること。
・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。
・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。

改善点と今後の指導
１　話し合いでは、異なる立場からの考えを聞き、様々な視点から検討した上で、自分の考えをまとめたり、相手に質問したりできるように指導をする。
２　自分が書いた文書の内容や表現に一貫性があるか、目的に照らして適切な構成や記述になっているか、 事実と感想、意見とが区別して書かれているか、引用の仕方、図表やグラフの用い方は適切かといったことなどを観点として、文章を整える指導をする。
３　互いの書いた文章を読み合い、感想や意見を伝え合うことによって、他者の文章のよいところを見付けるだけでなく、自分の文章のよいところを見付けることができるように指導をする。

（２）算数

課題となる点
・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察する。
・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解する。
・伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述する。
・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する。
・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述する。
・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する。

裏面に続く



学校だよりは、南小ＨＰにカラー版でアップしております。
ぜひご覧ください。 中道南小 検索 もしくは QRコードで

改善点と今後の指導（算数）

１　４年生以上の計算の学習では、示された場面において、数を大きくみたり小さくみたりするなど、目的に合った数の処理の仕方を考察する問題に取り組む。

２　５年生の割合や比例の学習では、求め方の筋道を立てて考え、説明する場面を取り入れ、求めるために必要な手順を確認することで定着を図る。

３　３年生以上のデータの活用の学習では、分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察する問題に取り組む。また、題意を丁寧に確認し、何を求めなければならないのか考えて取り組むようにしていき、定着を図る。

４　３年生以上の図形の学習では、実物を調べたり、作図に取り組んだりしていき、辺の長さや角の大きさも含め、それぞれの図形の性質や構成の仕方について考えさせていくことで図形の特徴の定着を図る。

（３）理科

課題となる点

・観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつ。

・自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する。

・実験で得た結果を問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述する。

・観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつこと。

改善点と今後の指導

１　習得した知識を基にして別の課題や実験に取り組み、知識を活用するようにして定着を図る。

２　観察・実験の結論をまとめる時には、得られた結果を正しく分析し、結論の根拠となる情報を過不足なくまとめられたかを確認していき、結論の書き方の定着を図る。

３　まとめた結論は、観察、実験のどの部分が根拠となっているかを考えさせる。

４　自分や友達の気付きを基に、差異点や共通点を捉え、新たな問題を見いだしていく場面を設定することや、観察・実験などの方法を具体的に見通して正しい結果が得られるか予想する場面を設定していく。

Ⅲ　質問紙調査の結果から　（県・全国と比較してよかったもの）

基本的生活習慣に関わること〉

・毎日同じくらいの時刻に寝ている。　・毎日同じくらいの時刻に起きている。

〈自分に関わること〉　・将来の夢や目標を持っている。

〈学習に関わること〉

・家で自分で計画を立てて勉強をしている。

・学習の中でＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使うのは役に立つと思う。

・５年生までの授業では、自分の思いや考えをもとに作品や作文など新しいものを創り出す活動をした。

・友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている。

・総合では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する学習活動に取り組んだ。

・道徳では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んだ。

・国語の勉強は大切だと思う。　・国語で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

〈地域に関わること〉　・今住んでいる地域の行事に参加している。

〈学習調査に関わること〉

・国語・算数・理科において、全ての文章で書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。

Ⅳ　全体としての取り組み

学校生活の中で、子どもたちが自己有用感や自己肯定感を持ち、希望や目標を持って生活するためには、環境づくりが大切です。努力や前向きな姿勢を積極的に認め、子ども同士が認め合い、助け合えるような親和的な学級づくり、学校づくりが持続していけるよう、あたたかくきめ細かい学習・生活指導、生徒指導に努めていきたいと考えます。

連 絡

今週の土曜日は秋季運動会が行われます。今年度もコロナ禍での運動会となりますが、子どもたちは、これまで毎日一生懸命に練習をしてきました。保護者やご家族の皆様には様々な対応にご協力をいただかなければなりませんが、学校から出された通知をよくお読みいただき、子どもたちのために、**安心・安全ですばらしい運動会**になるよう、皆様のご協力をお願いいたします。